

Translate to dialect

中原中也

方言
翻訳



の

詩を

方言にして読む

2021 年

1月23日 土 13:00 - 14:30

zoom オンライン開催

中原中也の詩「帰郷」「詩人は辛い」を、あなたの話せる方言で翻訳してみませんか？当日は翻訳した詩を朗読しあい、言葉の持つ響きの面白さを楽しみながら中也の作品を読み深めます。

参加条件：

- ・ zoom を使った参加が可能な方
- ・ 中原中也の詩を日本語の方言で翻訳し、当日朗読することができる方

※zoom1画面で、ご家族での参加は可能です

参加費：無料

申込方法：

予約フォームにて
お申込みください
(定員6名・先着順)



内 容：

- ①受付後、翻訳する中也の詩のテキストを2作品、メールにてお送りします
- ②あなたの話せる方言で翻訳し、1月18日(月)までに返信してください
- ③zoomのログインアドレスを前日までにお知らせします(当日は記録用に録画しますが、一般公開はしません)
- ④当日：当館の職員を交えて翻訳作品を読みあい、中也のものと作品と比較しながら中也の詩を読み深めます

詩人は辛い 中原中也

私はもう歌なぞ歌はない

誰が歌なぞ歌ふものか

みんな歌なぞ聴いてはゐない

聴いてるやうなふりだけはする

みんなたゞ冷たい心を持つてゐて

歌なぞどうだつたつてかまはないのだ

それなのに聴いてるやうなふりはする

そして盛んに拍手を送る

拍手を送るからもう一つ歌はうとすると

もう沢山といった顔

私はもう歌なぞ歌はない

こんな御都合な世の中に歌なぞ歌はない

―一九三五・九・一九―

詩人は辛か 長崎弁バージョン

おいはもう歌なんか歌わんばい

だいが歌なんか歌うもんか

だーいも歌どん聴いとらん

聴いとつふーばしとるだけ

だーいもがつんたか心ばもつとつて

歌ば聴いたつてしよんなかと思つとるとたい

そいとに聴いとつふーばして

よんによごと拍手ばすつと

拍手ばすつけん じゃあもういつちよ歌おつ

てすれば

もうよかつちゆう顔

おいはもう歌なんか歌わんばい

こがんくだらん世ん中歌う歌はなかない

―一九三五・九・一九―

帰郷 中原中也

柱も庭も乾いてゐる
今日は好い天気だ

椽の下では蜘蛛の巣が
心細さうに揺れてゐる

山では枯れ木も息を吐く

あゝ今日は好い天気だ

路傍(みじ)の草影が

あどけない愁(かな)みをする

これが私の故里(ふるさと)だ

さやかに風も吹いてゐる

心置なく泣かれよと

年増婦(としま)の低い声もする

あゝ おまへはなにをして来たのだと……
吹き来る風が私に云ふ

帰郷(おいのいなか) 長崎弁バージョン

柱もほかにわも乾いとつ
今日はよか天気ばい

ゆかん下では蜘蛛ん巣が
とぜんなかごと揺れとつと

山じゃ枯れ木も息ば吐く

ああ今日はほんとよか天気ばい

路傍の草影が

みぞかかなしみばすつ

こいがおいの故里たい

よかあんばいに風も吹いとつ

気にせんでいくらでん泣かんねって

とつしよれおなごの低か声のすつ

ああ おいはなあんばして来たんかと
吹つきよつ風がおいに話かくつ